

## 開館から11年1ヶ月で来館者数が200万人に達成しました

2013年7月1日の開館日から11年1ヶ月がたった今年8月にもりんぴあこうづ来館者数が200万人を突破しました。

開館初年度の2013年度は9ヶ月ほどでおおよそ97,000人。年々増えていき、2016年度以降は安定して年間20万人以上の方がもりんぴあこうづを訪れました。

2018年の9月には累計来場者数が100万人を突破。その際には、ロビーでエレクtoonとピアノ演奏の記念コンサートを開催し、観客と祝福しました。

その後2020年度にはコロナ禍となり、臨時休館や飛沫感染を防ぐための人数制限により来館者数は激減し、例年の半分近くになってしまいました。以降、徐々に規制も緩和されてきて来館者数も増えてきたものの年間20万人以上のペースには程遠い状態が2年続きました。

2023年には、新型コロナウイルスの分類が5類に引き下げられたことを受け、規制を解除したため、おおよそ195,000人まで回復しました。そして2024年8月に累計200万人を突破しました。この200万人達成のお祝いとして、9月24日に行われたもりんぴあフェスティバルのクイズラリー抽選会・閉会式でクイズラリー参加者の中から抽選で選ばれた1名に記念品が贈られました。



## 現代イタリアの芸術をより身近に！

9月26日(木)から10月14日(月・祝)まで2階ギャラリーMORI×MORIでは、「秋の芸術祭 現代イタリア・アート展2024」が開催され、イタリア人作家9名の作品を展示しました。イタリアの歴史や文化をどことなく反映した作品は、個性あふれる手法で生み出され、独自の世界観を醸し出しています。そんな作品が70点も展示された空間はまるでイタリアの風を感じさせるような雰囲気でした。10月6日(日)には、今回



の展示に協力してくださった酒井清一さんによるギャラリートークを実施。作品創作の課程や状況とともにフィレンツェ美術館と礼拝堂の説明があり、イタリア作品についての理解を深めました。また作家からのビデオレターもありました。

## 大きな声で歌って楽しむ「もりんぴあ歌声広場」

9月16日(月・祝)に2階MORI×MORIホールでは、「もりんぴあ歌声広場」が開催されました。音楽を聴いたり、声を出して歌うことにより脳の働きを健全に保ち、心や身体の健康にという目的で開催された歌声広場。

1部では、当館主催の事業「もりんぴあ合唱部」21名の発表会として「浜辺の歌」など4曲を合唱の他、ギターとオカリナのユニット「K&K」のミニコンサートも行われ「野に咲く花のように」など5曲が演奏されました。

2部では、再び登場したもりんぴあ合唱部が4曲歌いあげた



あと、ステージにはスクリーンが降りてきました。そのスクリーンには歌詞が投影され、入場者80名を含めた全員で「椰子の実」など6曲を熱唱しました。全員の歌声がホールに響き渡り、ホール内が少し揺れたように気がしました。

## 自分でマッサージして老廃物を排出！

セルフリンパマッサージ講座が9月7日(土)に3階のスタジオ2で行われ、14名が参加しリンパを流すことについて重要性を体感しました。

リンパとは栄養や酸素を運ぶ血液とは異なり、不要になった老廃物を回収したり、細菌やウイルスなどの異物をせき止めたり、排除する働きがあります。

今回、中嶋加奈江さんが講師を引き受けてくださりました。

リラックスした状態を作るためヒーリングミュージックを流しながら講座が進行しました。リンパが流れるとむくみの改善がみられたり、血行が良くなり肩こりや冷えの解消が見込めます。参加者は少しながらも効果を体感できたようです。



## 地域との関わり・交流も地域施設としての責務

公津の杜コミュニティセンターの業務の中で、近隣の小学校や中学校などとの関係も施設の存在意義として重要な役割をはたしています。

10月8日には平成小学校、10月18日には公津の杜小学校の「まち探検」の探検先として協力しました。施設内をまわったあと、質問に答えて「もりんぴあこうづ」についてより深く知ってもらいました。

11月7日・8日には西中学校の「職場体験」を受け入れました。諸室の貸出だけでなく、施設管理の一端を体験してもらった他、なかよしひろばの業務を体験してもらいました。この経験を将来、何かしらの役にたててくれれば嬉しい限りです。

10月13日には公津の杜駅前で行われた公津フェスタでのイベントブースの受付を行い、運営をお手伝いしました。



# 図書館だより

## 電子書籍なら、図書館に来なくても本が借りられます！

電子書籍は、スマートフォンやパソコンから、いつでもどこでも書籍を読むことができるオンラインサービスです。本を借りたり返したりするのに、毎回図書館に来る手間も時間もかからず、図書館が休館していても利用することができます。また、「週刊ダイヤモンド」や「dancyu」など、最新号を読むことができる雑誌もあります。

市内にお住まいの方、通勤・通学されている方などなたでもご利用いただけます。(あらかじめ電子書籍サービス用のパスワードを発行し、それを使ってログインする必要があります。)

パスワードの発行や利用方法など、詳細については本の相談窓口でお気軽にお尋ねください。寒くて外出しづらいときや、年末年始のお休みなどに電子書籍を読んでみませんか。



成田市立図書館電子書籍サービスサイト  
<https://narita-public-library.overdrive.com/>

## 海外の文化・習慣を楽しんで学ぶ

10月27日はハロウィンにちなんで、かぼちゃのクッキー作り、仮装しての街歩きが行われました。11月の初旬、わんぱくルームに「死者の日の祭壇」が飾られました。映画「リメンバー・ミー」でご存じの方も多いたと思いますが、メキシコの文化で亡くなった家族への愛と敬意を示すお祭りです。お盆に似ているので、馴染みやすいのではないのでしょうか。



## 幻想的な写真の芸術性を競う！

今年度も「アート・フォト・NARITA」を開催。今回は『夢』というテーマの合成や色調補正をおこなった写真を募集しました。全国から30名67作品がエントリーし、15点の入賞作品が選ばれました。11月16日には表彰式が行われ、賞状・賞品が贈られました。その後、審査委員長による講評会も行われ、作品のポイントを熱心に聞いていました。



# なかよしひろばだより

## なかよしひろばのママのハンドベルチームがアツイ！

12月にMORI×MORIホールで開催する“クリスマスおたのしみ会”での演奏にむけて有志のママ達がハンドベルを練習しています。経験者、初参加、ピアノ伴奏担当と10人のママたちが集まりました。ハンドベルとトーンチャイムをコミュニティーセンターからお借りして、毎回楽しく、かつ真剣に練習に取り組んでいます。当初はなかよしひろばの食事室で練習をしていましたが、より集中して長く練習したいとのママたちの要望で工芸室も使わせてもらっています。

おなじみのクリスマスソング2曲と『アヴェ・マリア』を演奏予定で、練習を重ねて揃うようになってくると、一曲の演奏が終わるたびに「おお～！できた！」と嬉しそうな歓声が上がっています。以前から参加していたママが「かってないほどアツイメンバーです」と話してくれました。また、「春から仕事復帰の予定なので、今しかできない貴重な体験です」と話すママもいます。

ママ達が練習をしている間、子ども達はママのそばで過ごしたり、ひろばスタッフと遊んだりしています。時にはご機嫌の悪くなった我が子をママが抱っこしたりおんぶして練習する姿も…本番まで残すところあとわずか、益々熱のこもった練習となることでしょう。当日の演奏が楽しみです。



## おまけの1枚

今年も図書館の入口前にはクリスマスインスタレーションが登場しました。シンボルであるクリスマスツリーのほか、暖炉やソリ、ステンドグラスなどがあります。それぞれに仕掛けが施されており、時間により様々な変化が生じます。立ち止まって見入る人や記念撮影する人がたくさんいました。



## 編集後記

ディズニーシーのビッグバンドビート終了が決定。1番すきなショー。ドラムを叩くミッキーがかっこいい。そのミッキーがキレキレのダンスもみせる。音楽に携わっている者からすると凄さが格別。鑑賞するには抽選に当たらなければいけないため機会が減ってしまった。終了までに生で見れるのだろうか… (K)

30年前なんとミニバスケットボールのチームを立ち上げ監督をやっていたT! 今では強豪チームに成長し、現監督からチーム発足25周年の記念パーティーの招待を受け参加してきた。当時のメンバーはすっかりママとなり、そのお嬢さんたちが今はミニバスで活躍している。時代の流れを感じる～ (T)

公津の杜コミュニティセンター  
(指定管理者 アクティオ株式会社)  
発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明  
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地  
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353  
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ  
こうづ  
Morinpia Kozu